



2022年11月7日

各位

会社名 株式会社 タムラ製作所
代表者名 代表取締役社長 浅田 昌弘
(コード番号 6768 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員
経営管理本部長 橋口 裕作
T E L 03-3978-2031

2023年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び 繰延税金資産の計上に関するお知らせ

2022年9月26日に公表いたしました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値との差異につきましてお知らせいたします。また、繰延税金資産の計上について下記のとおり併せてお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績値との差異

2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 50,500	百万円 1,600	百万円 1,100	百万円 400	円 銭 4.87
実績値（B）	49,446	1,648	1,313	1,250	15.24
増減額（B－A）	△1,034	48	213	850	－
増減率（％）	△2.1	3.0	19.4	212.6	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （2022年3月期第2四半期）	41,139	282	652	△55	0.68

2. 差異の理由

売上高及び営業利益は、おおむね前回発表予想どおりに推移いたしました。経常利益は、発生を見込んでいた為替差損が想定以下となったことで、予想に比べ増加しました。また、海外子会社清算に伴う為替換算調整勘定の取崩しによる特別利益193百万円の計上に加え、下記3に記載のとおり法人税等調整額△265百万円（△は益、業績予想数値では損失予定）を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想値を上回ることとなりました。

なお、2023年3月期通期連結業績予想につきましては、本日公表しました「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にも記述しておりますとおり、外部環境に依然不透明な状況が継続していることなどを踏まえ変更いたしません。修正を行う場合は速やかにお知らせいたします。

3. 繰延税金資産の計上

今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上することとし、2023年3月期第2四半期（累計）期間において法人税等調整額△265百万円（△は益）を計上いたしました。

以 上